

こどもの権利条例策定に向けた 全市的な機運の醸成キャンペーン（案）

1 概要

- 子どもの権利を保障し、社会全体で子育てを支えるまちの実現のためには、子どもの権利という視点の大切さなど、子どもについて考えるきっかけを広く市民に提供し、大人と子どもの双方に意識変革を促しながら、条例制定を全市的なムーブメントとする必要がある。
- 条例制定に当たっては、策定の段階から、子ども及び市民の参加の機会を積極的に設けながら、広報・啓発活動を戦略的に行い機運の醸成を図る必要がある。
- 子どもの権利に関する広報・啓発に当たっては、多様な形で市民が子どもの権利に触れる機会を提供できるよう、市の広報誌を活用するとともに、市民参加の取組を網羅的に展開するキャンペーン活動を行う。

2 キャンペーンの内容

取組① 子ども等からの意見聴取

当事者である子どもや市民の多様な意見を条例に反映させるため、条例策定の段階において子ども及び市民の参加の機会を積極的に設ける。

【聴取方法】

- 市ウェブサイト
- ライン、ツイッター
- はぐくむF U J I 2/20号ほか
- チラシ、コードモノ権利通信
- イベント会場

意見募集案（企画・シリーズ名称を検討中です）

- ① 言いたくも言えなかつことを言っちゃおう（2月）
- ② あなたのホッとできる場所をこっそり教えて
- ③ 幸せじゃないと思ったときはどんな時
- ④ あなたの一番大切にしたいものは
- ⑤ 人と比べられて嫌だったことは
- ⑥ 大人に何をされると嬉しい・つらい？
- ⑦ あなたにつらい思いをさせているものはなに？
- ⑧ しあわせになる魔法が使えたら、どんな魔法を使う？

取組② こどもの権利啓発ラジオ広報番組の放送

- 子育て中の保護者（父母・祖父母）から「わが子、わが孫のユーモラスなエピソード」を募集し、ラジオで紹介。あらゆる角度から子どもの権利について考える機会を提供する。
- 放送：コミュニティFM（Radio-f） 3分番組×52回

取組③ 子どもの権利動画コンクール

【内容】

- 「シアワセじかん（案）」をテーマに動画作品を募集
- 動画は15秒間とし、動画の最後は「これが私（私たちの）のシアワセじかん」とコメントする

【対象者】

- 市内在住または在学の18歳未満の方（団体部門・個人部門）

【その他】

- シンディプロモーション課と連携し、高校生を対象としたYouTuber養成講座を開催する

取組⑤ 高校生ワークショップ （子どもの権利甲子園）

【内容】

- 市内高等学校の新聞部に、子どもの権利に関するテーマについて、子どもたち自身に話し合ってもらい、おとなに対する意見や建設的な提案を求め、記事に起こし発表する。

【対象者】

- 市内高等学校（6校）の新聞部

【その他】

- 発表会の場を設ける

取組⑦ 個別イベントの開催

- 小中学生や大人を対象としたイベントを通して、子どもの権利について考える場を提供する
（例）走り方講座、マンカラ選手権 など

取組④ 子どもの権利川柳コンテスト

【内容】

- 親などに対する意見・不満・感謝など、子ども目線のメッセージを込めた川柳を募集。
（例）「鬼来るよ！」 ホントの鬼はあなた（母）です

【対象者】

- 市内在住または在学の小学生・中学生

【その他】

- 教育委員会及び各小・中学校等と連携を行う

取組⑥ はぐくむF U J I ジュニア アカデミー賞の開催

【目的】

- 市民参加によるイベントを通して、子どもの権利に関する理解を深める。
- 条例策定に向けて、子どもの権利について考えるきっかけづくりを行う。
- 子どもの権利条例策定に向けての市の意気込みを伝え、

【イベント内容】

- ジュニアアカデミー賞と題し
 - ①子どもの権利動画コンクール作品上映・入賞式
 - ②子どもの権利川柳コンテスト作品紹介・入賞式
 - ③高校生ワークショップ（子どもの権利甲子園）の記事紹介・優秀作品の表彰式
 - ④屋外で「こどもフェスタ」の開催等のイベントを実施する。

【会場】

- 市内結婚式場（案）及び屋外会場（富士市役所芝生広場）

キャンペーンは、はぐくむF U J Iプロジェクト※の一環として実施します

3 スケジュール

事業区分	令和2年度			令和3年度										概要		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2	3
こどもの権利条例策定懇話会		第3回								第6回						
条例の制定			素案作成					案例案					パブリック			制定
意見聴取																★
イ ベ ン ト	子どもの権利 動画コンクール					準備			応募							
	子どもの権利 川柳コンテスト					準備			応募							
	高校生ワークショップ（子どもの権利甲子園）															
	はぐくむF U J I ジュニアアカデミー賞の開催															★10/下旬
	単発イベント			3/20		○	○									
広 報	子どもの権利啓発ラジオ広報番組の放送															
	広報誌等の発行・コードモノ権利通信の発行		▲2/20号はぐくむF U J I										▲7/20号			▲11/20号

はぐくむF U J Iプロジェクトとは

- 本市の子育て支援を中心とする少子化対策について、「はぐくむF U J I」を冠して、社会全体で子どもや子育て世代を応援する一連の取組やイベント。
- 令和3年度（2021年度）は、主に、オフィシャルサポーター認定制度事業と子どもの権利の推進について展開予定。

「はぐくむF U J I」の公式ロゴ



HAGUKUMU
FUJI